

2021年5月14日

各位

株式会社 J M C

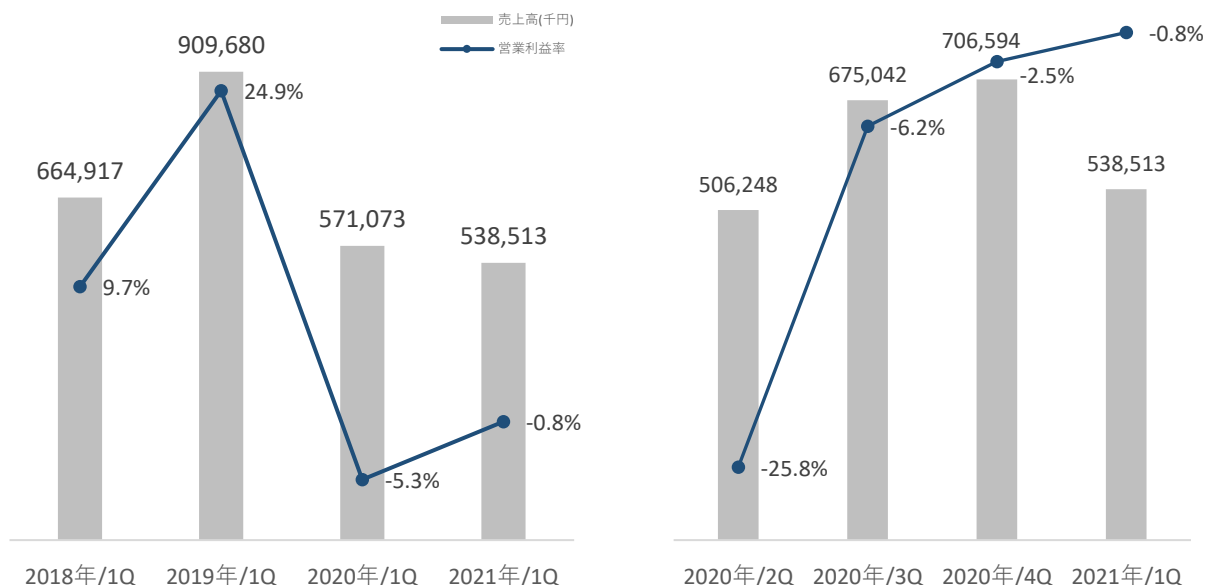
(証券コード: 5704)

2021年12月期第1四半期決算
売上高は前年四半同期比 5.7%減の 538 百万円、営業損失は 4 百万円
 ~概ね当社想定通りの進捗で売上高減少による営業損失を最小限に抑制~

2021年12月期第1四半期の業績は、売上高 538 百万円（前年同四半期比 5.7%減）、営業損失 4 百万円（前年同四半期 営業損失 30 百万円）、四半期純利益 27 百万円（前年同四半期 四半期純損失 6 百万円）、1株当たり四半期純利益 5.17 円（前年同四半期 1株当たり四半期純損失 1.31 円）となりました。

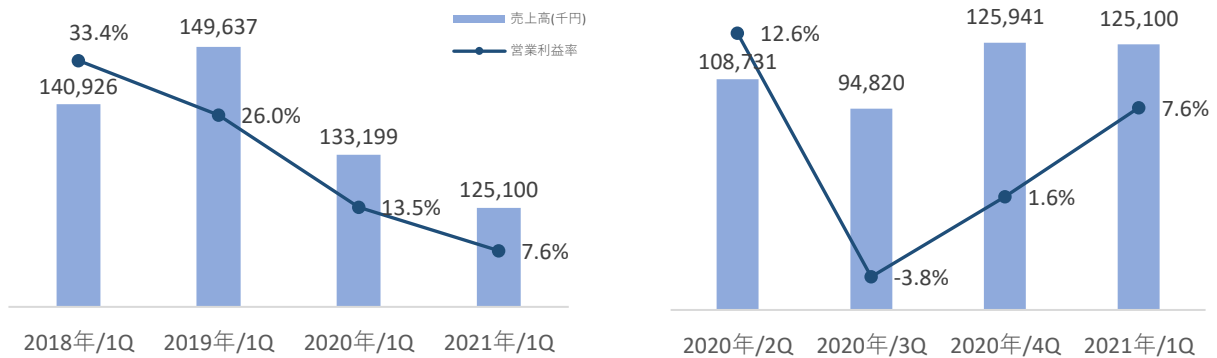
前事業年度より続く新型コロナウイルス感染症の影響により、主要顧客である自動車産業では予定していた研究・開発の後ろ倒し・縮小、これらに伴う価格競争の激化など、厳しい環境が継続いたしました。当社では工場ライン自動化ニーズを背景に需要が旺盛な FA 分野における量産部品の受注獲得に加えて、ミーリングセンター（静岡県浜松市浜北区）での内製化向上や、より高難度の加工への準備に着手するなど、体質強化に向けた取り組みを粛々と進めてまいりました。

業績ハイライト



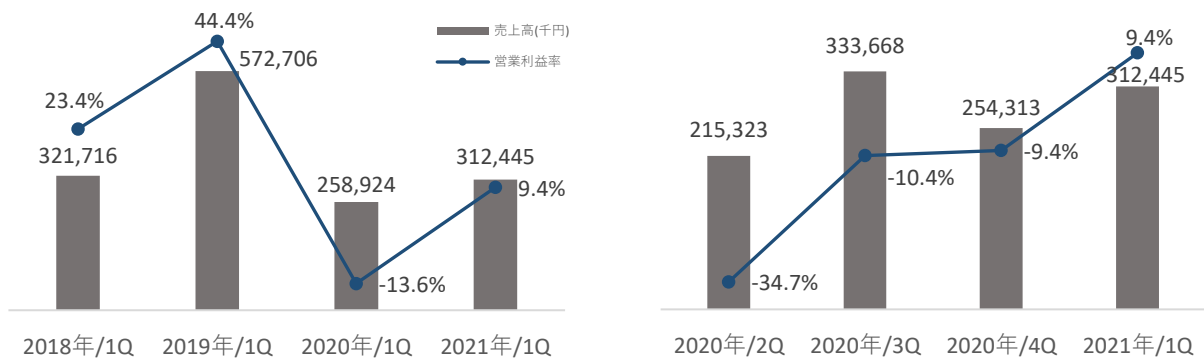
セグメント別業績

● 3Dプリンター出力事業



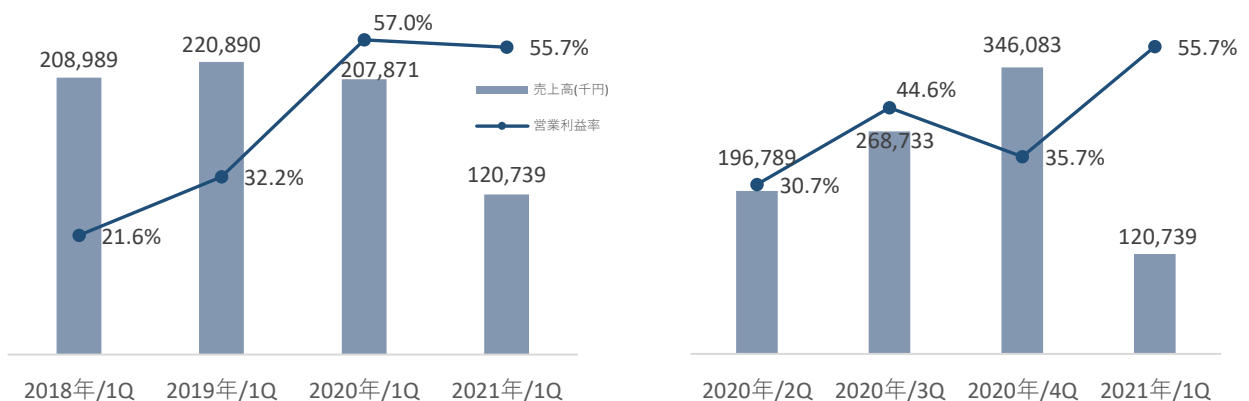
- ・ 既存顧客の開発予算縮減やプロジェクト停滞、屋内外での催事減少等による価格競争激化で苦戦
- ・ HEARTROID（ハートロイド）事業は、米国を中心にデバイスメーカーからの需要が好調維持

● 鋳造事業



- ・ 自動車業界顧客での開発遅延の影響はあるものの、若干の市況の明るさを取り戻す
- ・ 工場ライン自動化ニーズを背景に FA 分野の量産部品の売上高は堅調に推移
- ・ 内製化の推進と高難度加工への取り組み、柔軟な工場運営体制によって需要回復時に備える

● CT事業



- ・ 当第1四半期ではCT装置販売なし
- ・ 特定顧客の品質保証、検査目的のプロジェクト案件の縮小で撮像サービス売上高が減少
- ・ ウェビナー、メールマガジン等を用いた啓蒙活動により産業用CT認知度が向上

今後の見通し

2021年12月期第1四半期の業績は、概ね当社の想定通りに推移しておりますが、政府による緊急事態宣言の延長が決定されるなど、予断を許さない状況が継続しております。

当社では、通期業績見通し達成に向け、期初に掲げた「Cross-functional&提案力」をテーマに各事業での懸案課題への取り組み強化と連携を通じて、お客様に寄り添った提案力・解決力の強化を図りながら、長期的な事業の拡張を進めてまいります。

なお、決算関連資料等につきましては、当社ホームページ (<https://www.jmc-rp.co.jp/>) よりご覧ください。

【問い合わせ先】

株式会社JMC 経営企画室

TEL: 045-477-5751 E-MAIL: ir@jmc-rp.co.jp

(注意事項)

本資料は、当社の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、いかなる情報も、当社が発行する株式の購入や売却を勧誘するものではなく、またこれらに関する投資アドバイスの目的で作成されたものではありません。

本資料に掲載されている情報には、当社に関する将来予測や業績予測が記載されていますが、これらは潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。業績結果が経営環境の変化などによって、見通しと異なったものになる可能性があることをご承知おきください。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましては、その責を負いかねますのでご了承ください。